



東陽中だより

○発行責任者 宮崎 浩司
○文 責 河村 知泰
○発行 日 令和7年11月28日
No. 7【11月号】

◎教育目標 ～ 明日を拓く ～ ★ 豊かな心 ★ 活きた知性 ★ たくましい体

1年生職業講話を行いました

10月30日(木)、1年生を対象とした職業講話が行われました。

当日は生徒が興味をもっている6業種の方を講師にお招きし、1時間の講話を2回行っていました。

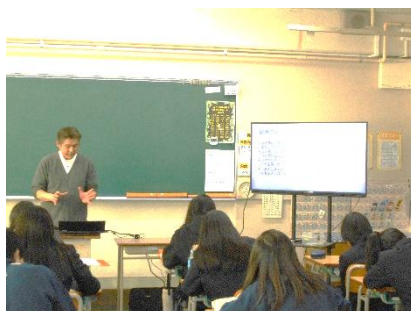
ねらい

- ・地域の方や人生の先輩との交流を通して、様々な人の生き方があることを知り、自分の生き方を考える手がかりにさせる。
(地域とつなぐ・学びをつなぐ)
- ・勤労観や職業観の育成を図る。
(学びをつなぐ)

<お世話になった講師の方>

- 飲食業：矢野 竜次郎 様 (エスペリオ)
- IT関連：水口 孝幸 様 (情報ビジネス専門学校)
- スポーツ：嵯峨 裕太 様 (元エスポラーダ北海道監督)
- 動物関係：佐賀 真一 様 (旭山動物園)
- 医療：黒住 恵梨奈 様 (看護師)
- 工業：上西 様 他1名 (ホクト電子)

キャリア教育の一環として行った本講話ですが、興味ある分野の話聞いたせいか、どの生徒も大変真剣な様子で取り組んでいました。まとめを行うことで、さらに自分自身の将来に向け、考えを深めることになります。また、2年次に実施する職場体験学習にも生きてくる活動となりました。



三者懇談・教育相談終了

11月12日(水)～19日(水)の6日間で、3年生の三者懇談、1・2年生の教育相談が終了しました。

3年生にとっては、高校などの上級学校等への進学について、保護者も交えて、最終確認する場となりました。1・2年生は、学校生活での友人関係や学習など、様々な相談が行われるとともに、高校等へ進む進路についても現在の状況について確認しました。

三者懇談・教育相談で考えたことを活かして、今後の学校生活を充実したものにしたいと思います。



三者懇談等進路に関わり、11月4日(火)には進路説明会が実施されました。多くの保護者の方に来校いただき、ありがとうございました。

東陽中学校 図書館まつり

【図書館まつりの目標】

- ・読書活動を通して、読書の意義を考える
- ・図書館や図書のPR作品を通して図書に対する興味や関心を高めるとともに、読書に親しむ態度を育てる。



本校では、毎年図書委員会が中心となり、この目標を達成するために、「図書館まつり」を実施しています。今年は、10月31日(金)～11月7日(金)の開催となりました。

図書館まつりの内容は、大きく2つに分かれています。

① 読書エッセイコンクール テーマ「出会えて良かった一冊」(全校生徒)

テーマの元、200字原稿用紙1枚で読書に関するエッセイ(自分の体験や考えを、自由な形式で文章にしたもの)を書きます。優秀作品は、各学年から金賞・銀賞・銅賞各1名、佳作各学級1名程度が表彰されます。

② PRポスターコンクール(希望者)

自分の好きな一冊、思い出の一冊、みんなにお勧めしたい一冊などを取り上げて、その本をPRするポスターを作成します。全学年から金賞1名、銀賞2名、銅賞2名、佳作若干名の表彰となります。

エッセイ、ポスターコンクールについて、昨年度の作品を見せてもらいました。大変素晴らしい作品が出品されており、感心しました。

今年は、どのような作品が金賞に輝くのか、とても楽しみです。

12月の主な行事予定

5日(金)	3年生学力テスト(模試)	25日(木)	2学期終業式
	職員会議		職員会議
8日(月)	全校集会(いじめ撲滅)	26日(金)	冬季休業
10日(水)	3年参観日		～1月14日(火)
11日(木)	1年参観日	29日(月)	学校閉庁日
12日(金)	2年参観日		～1月3日(土)
		1月14日(水)	3年生登校日 3年生後期期末テスト



1 全国学力・学習状況調査の概要

- (1) 「教科に関する調査」と「生活習慣や学習習慣等に関する生徒質問調査」を実施しました。
調査対象教科は、国語・数学・理科です。
- (2) 教科に関する調査の内容について
 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等。
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

2 教科【国語・数学・理科にかかわる調査結果の概要（顕著なもの）】

国 語	全国平均と比較して十分に身に付けている力	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ○自分の考えを根拠を明確にして書く。 ○自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 ○読み手の立場に立って、文章を正しく修正したり、その理由を書く。
	全国平均と比較して課題となる力	<ul style="list-style-type: none"> ▼文脈に即した正しい漢字を使う。 ▼事象や行為を表す語彙について理解している。
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ◎問題の2/3は無解答率0%であり、答えを書こうとする意識が高い。 ◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」の2領域で、全国・全道平均以上及び同程度の正答率であり、日常の授業や学校生活での実践、家庭学習の取組が結び付いていると考えられる。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ●「自分の考えとその理由を書く」の正答率が全国・全道平均よりも低い。 「書くこと」全般では、正答率が高いが、自分の考えを整理し、表現することに難しさを感じている生徒が多いので、無解答率もかなり高いという課題がある。
数 学	全国平均と比較して十分に身に付けている力	<ul style="list-style-type: none"> ○素数の意味を理解している。 ○反例をあげて説明することができる。 ○必ず起こる事柄の確率について理解している。 ○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する。
	全国平均と比較して課題となる力	<ul style="list-style-type: none"> ▼多角形の外角の意味を理解している。 ▼式の意味を読み取り、数学的な表現を用いて説明することができる。 ▼証明を振り返り、新たに分かる辺や角についての関係を見いだす。
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ◎「数と式」「データの活用」の2領域で、全国平均・全道平均以上及び同程度の正答率であり、日常での授業や学校生活での実践、家庭学習の取組が結び付いていると考えられる。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ●「図形」「関数」の領域の正答率が全国・全道平均よりも低い傾向にある。 グラフの読み取りや数学的表現を用いて証明することを苦手としている。
理 科	全国平均と比較して十分に身に付けている力	<ul style="list-style-type: none"> ○電気回路について、直列と並列の違いを正しく理解している。 ○呼吸を行う生物を選択する。 ○塩素の元素記号を記述する。 ○探求の過程における疑問や生活との関連等に着目した振り返りができる。
	全国平均と比較して課題となる力	<ul style="list-style-type: none"> ▼地層に関する知識・技能を基に分析して解釈できる。 ▼小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛について、多面的、総合的に分析して解釈することができる。 ▼これまでに学習した理科の知識・技能を基に化学変化の分解の知識が概念として身に付いている。
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ◎「エネルギー」「粒子」「生命」の3領域で、全国平均・全道平均以上及び同程度の正答率であり、日常での授業や学校生活での実践が結び付いていると考えられる。その中でも、「粒子」の領域では、正解率が非常に高い。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ●「生命」「地球」を柱とする2領域の正答率が全国・全道平均よりも低い傾向にある。小学校から学習している理科の知識・技能を関連づけて分析することを苦手としている。

3 学習状況（生活習慣・学習習慣・学習内容）の調査結果の概要

全国平均と比較して、肯定的な回答を示した割合が高い質問内容	①いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 ②将来の夢や目標を持っていますか。 ③人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 ④分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。 ⑤学校の授業以外に、普段(平日)1日あたりどれくらいの時間、ICT機器を勉強のために使っていますか。
全国平均と比較して、肯定的な回答を示した割合が低い質問内容	①自分には、よいところがあると思いますか。 ②朝食を毎日食べていますか。 ③土日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。 ④学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか。

4 指導の改善策(結果を分析し、重点策の共通理解を図り取り組んでいます)

○国語の改善策について

漢字など語彙について正しく理解させ、文章の全体と部分との関係に注意しながら主張と例示の関係性を把握できるように、文章を書いたり、書いた文章を推敲したりする学習に取り組めます。また、他教科の中でも、自分の考えをきちんとした理由を付けて発表したり、文章をまとめたりする学習を行います。

○数学の改善策について

図形の領域では、「定義・性質・条件」をしっかり理解させ、どの定義が当てはまるのかなど、様々な角度から物事を考えて、図形の証明問題などに取り組めます。また、他教科の中でも、「完成形」をイメージして、それを実現(完成)させるための条件を考えながら作業等を行うことにより、正解への導き方が分かるよう指導します。

○理科の改善策について

言葉の暗記だけではなく、小学校から学習してきた知識・技術を中学校での学習内容に結び付けながら取り組めます。実験や映像視聴なども行い、全ての領域が自分たちの生活に関連していることをさらに意識させていきます。

○主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善

学習指導要領では、各教科等を通して育成すべき資質・能力を3つの柱で整理しています。①**学びに向かう力、人間性等**（学んだことを人生や社会に生かそうとする）②**知識及び技能**（実際の社会や生活で生きて働く）③**思考力・判断力・表現力等**（未知の状況にも対応できる）です。

- ・主体的な学びの視点→見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業
- ・対話的な学びの視点→周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業
- ・深い学びの視点→→→一つ一つの知識がつながり「分かった!」「おもしろい!」と思える授業
- ・これからも授業をよりよく改善できるように取り組み、子供たちの力をしっかりと育み、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進め、子供たちの力をバランスよく育てていきます。

○家庭学習の習慣づくりに向けて

学習は毎日の積み重ねや家庭での予習・復習が大切です。家庭学習習慣の意識を高めたり、適切な生活リズムを確立させたりするために、L Sシートを活用して計画的に学習したり、規則正しい生活をしたりするように取り組んでいます。

また、ご家庭で普段の生活や学習について話し合ったり、将来の夢などについてお子様の考えを聞いたりしていただきたいと思います。そして、今一度、スマートフォン(タブレット端末)の使い方や使用時間、各メディア(SNS・インターネット動画・ゲーム使用等)の接触時間等についても、各家庭での使用ルールのご確認と、ご指導をお願いいたします。